



NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会

通信

2012年4月1日 第52号

NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会
会長 國 弘 昭

〒780-0841 高知県帯屋町2-5-11
TEL 088-821-3800 FAX 088-873-3313
URL http://www3.ocn.ne.jp/~ob-3800/
E-mail taisyoku-kochi@air.ocn.ne.jp



1. 従来は、高知県の北部は比較的震度が低く安全との説明をしてきたが、想定に瑕疵があり、

半端じゃ無い揺れと津波 先ずは身近なことから備えよう



- 新たな知見では、県下どこにおいても震度6以上の揺れがあることが判明。震度6以上ともなると半端な揺れではない。物が倒れるではなく飛んでくると思っておいたほうがよい。
2. 従って家庭では以下の備えを。
- ① 寝室には筆筒など怪我に繋がるものを置かない(物が飛ぶことを念
 - ② 懐中電灯は必須(夜間の場合停電は必至、逃げる時はもとより足元の明かり確保は非常に重要)
 - ③ スニーカー等を寝室に(窓ガラスの割れた破片で足が傷つくと家族共倒れの危険性が増)
 - ③ バールを玄関内側に配備(揺れでドアが開かなくなることもある、



- ④ いずれにしろ津波などについて個人対応には限界があるため、行政とタイアップし自主防災組織を立ち上げ地域的な対策構築が肝要(複数避難路の確保、誘導蛍光標識、簡易トイレ等々)

南海地震 備えは大丈夫か 復興への足どり重く

3・11から早一年超



講演する岡村教授

自然の猛威の前に言葉を失った3・11東日本大震災。丁度一年たった本年3月11日現在、死者1万5,854人、行方不明者3,155人、避難・転居者34万3,935人、又関連死も阪神淡路を上回り1千名を超えたと伝えられています。瓦礫処理・放射能汚染・風評被害etcと復興への足どりは困難を極めていきます。

この様な状況に少しでも役立てればと私たち退職者の会も「義援金」「復興力キオナー」をはじめとする支援活動を

すずめて参りました。お陰様で昨年の救援カンパに加え今回も多く浄財が集まり一定の役割を果たすことが出来ました。この間の皆さんのご協力に感謝します。さて、この大震災を契機に東海・東南海・南海の連動地震の確率大との報道もあり、私たちも重大な関心を持つと同時に、その備えが重要な課題となっております。それぞれの皆さんが自治体や地域を中心に自主防災に努めておられることと思いますが、この1月28日、地震の第一人者として有名な高知大学岡村眞教授の講演会が労協の主催で開催されました。大変参考になる講演でしたのでその主旨を紹介しますので参考にして頂ければ幸いです。

3. 津波は、
- ① まず高台に逃げるが基本。思わぬ方向から襲われることがあるので標高・地形を念頭に逃げる先を日常的に把握しておく(防災マップの活用)
 - ② 避難先が構造物の場合には非常時の「鍵」の扱い等を行政等と詰めておく
 - ③ 避難場所確保困難地域(行政と避難タワー等)についての設置協議を早期に開始)



4. 逃げる前に電気のブレーカーを切るなど、地震に伴う火災等2次被害を最小化することも重要な課題、様々な情報を正しく選択し災害への備えに万全を期して下さい。

要は自分でできる「備え」と行政や地域と連携して「防災対策」「防災知識」の習得に努めることが被害最少化への最短コースだと思われまます。

〈弘田和幸 記〉

NTT労組退職者の会 四国連携委員会を開催

第14回四国連携委員会が3月1日、かんぽの宿・観音寺で四国四県より(会長・事務局長)退職者の会(会長・事務局長)等の18名が出席し開催されました。

開催県の香川県協の宮本会長より座長挨拶、続いて四国総支部の田岡委員長より挨拶があり、出席者の自己紹介の後、議題にそって順次、報告・討論が行われました。

- ① 県退職者の会活動の現状と課題について
- ② 退職予定者の加入拡大について
- ③ 四国総支部の繁木事務局長より四国全体の加入状況等の報告後、各県から申込口数等の



現状と課題等についての報告がありました。

③ 東日本大震災復興支援の現状と課題について各県から申込口数等の報告がありました。

〈北岡節次 記〉

やまだ漁協復興再生支援 『カキオーナー』集約状況

東日本大震災の復興支援策として、NTT労組の組織一丸となって、現退一致で実施する「やまだ漁協・復興カキオーナー」の取り組みをお願いしましたところ、多くの会員の皆様にご協力を頂きありがとうございました。

3月8日、高知県支部協の最終集約状況を「退職者の会・中央協」へ報告しました。

カキオーナー関連ニュース

『情報産業労働組合連合会』は2月9日、山田町の「三陸やまだ漁協」が震災復興のために募集している「復興カキオーナー」に協力して組合員から寄せられた、出資金7,700万円を同漁協に贈った…(毎日新聞岩手版：2月10日号掲載)

退職者の会加入促進のため ウェルカム懇親会を開催

2011年度未退職予定者に 退職予定者3名を対象にNITT 対する「退職者の会」への説明 労組高知県グループ連絡協議会「ウェルカム懇親会」を1月 25日に高知市で市内近郊の退職 会・電通生協等と協力し開催し 予定者12名を対象に、また1月 26日には四万十市で中村近郊の 会は、主催者側の挨拶の後、

共済等支払状況

ありがとう制度

(2011年12月～2012年2月)

お祝い

☆米寿(2件)

12月 森田 雪乃様

1月 森 明生様

☆喜寿(13件)

12月 山下 和子様

久保田靖夫様

越智 俊雄様

岡林 泰助様

嶋岡 徳様

高橋 京子様

1月 松本 果様

井上 善猛様

又川津八子様

2月 小川 清久様

高橋 正臣様

廣田 義雄様

黒岩 栄子様

☆古希(25件)

12月 原田 弘和様

下山 慶子様

黒岩 靖夫様

岡西 滋夫様

西本 寿男様

水野 祥子様

橋本美佐子様

山崎 公平様

支部協慶弔制度

(2011年12月～2012年2月)

お祝い

☆金婚(6件)

12月 大久保峯子様

1月 森田 豊様

岡本 幸夫様

有澤久美子様

岡村 剛様

浜口 幸香様

西尾 演之様

2月 中城 浩道様

野島 明様

前島久美子様

北村 論様

河川 博様

手島 賢三様

溝淵 隆様

中村 美枝様

津田 建二様

町 法太郎様

1月 横田俊一郎様

西森 好子様

久保田靖夫様

近田 敏子様

☆配偶者死亡(5件)

12月 深田 正三様

1月 川村 教江様

兵頭 宏美様

岩倉 靖雄様

2月 横田 勝様

1月 市川 静様

西本 賢様

兵頭 宏様

市川 静様

清水真紀子様

長谷部俊明様

岩倉 忠子様

住宅災害

1件 13万9,800円

交通災害共済

4件 171万9,800円

加入説明会に移り、①確定申告の必要性、②入会のメリット、③退職者の会の重要性、④電通生協について、⑤具体的な手続きについて、それぞれ担当者より説明し質疑応答もふくめ様々な意見が交わされました。この様な活動を受け2月末日現在の入会状況は高知で23名、四国全体で145名となっております。今後ともグループ連絡協議会を主体に、未加入者への入会勧誘を継続していきます。
〔北岡節次 記〕

防災活動に全力

吉村 二郎
(須崎市西町)

皆さんお元気ですか。私も人生の大半を過ごした須崎市で元気にやっております。さて、未曾有の大災害となつた東日本大震災に伴う大津波は自然の猛威を知らしめました。高知県でも近い将来必ず起こるという南海地震への備えが喫緊の課題となっております。特に須崎市は地形上、津波被

力作ぞろい 感嘆の声

3月1日～6日、高知電友会創立50周年を記念して「趣味の作品展」が開かれました(退職者の会後援)。会場には、絵画・書・写真・工芸等々多くの作品が展示され、そのどれもが目をみはるばかりの力作揃い。訪れたたくさんの方の見学者も「すごいネ」とあちこちで感嘆の声を上げていました。



会員投稿欄

所感・雑感



害が拡大しやすいとされており、今後の取り組み如何が被害の大小を決めると思っております。実は退職前後の平成21年から私の居住地区の「西町自主防災会」の会長と西町常会長を仰せつかり及ばずながら105世帯の先頭に立って頑張っております。昨年はNHKの「四国羅針盤」にも地震学者に混ざって出して頂き貴重な体験をしました。防災会では年2回の「防災訓練」を行い避難路等を示した「防災マップ」を全戸配布し、防災危機意識と防災知識の向上を目指した取り組みをしています。地道な取り組みが被害を最少化する第一歩だと信じ、これから名です。

「目に余る 暗いニュースにめがねふく」時代ですが、高知新聞夕刊(総合版は朝刊)社会面の「へそ」と呼ばれる小窓「出放題」、私も平成20年から「クラブ出放題」に入会、会員数56名です。

クラブ会員は、2月ポツ作品供養祭(高知大神宮)と新年会、4月花見、7月ビール会、10月観月会、12月総会と忘年会等アルコールが回る「飲み放題クラブ」と揶揄されるが風流と酒をこよなく愛し戸籍年齢を忘れた仲間の絆が強まります。「通信」愛読者の皆様ぜひ出放題に挑戦しませんか。どなたでも出し放題、解雇通知や定年なし、頭の体操・ボケ防止に最適です。

たった3行に命懸けで推敲(10分あれば十分という人もい)る)や一瞬の閃きで作成投稿した作品は「まな板の出放題」そして必殺仕分け人、いや言葉の3枚おろしのシェフである社会部長が吟味して毎日(日祝祭日除く)掲載されます。「病気かな 一句でさなきや落ち着かぬ」の会員・投稿者は、皆掲載されることを願う胸躍らせます。

喜怒哀楽

第11回

“伊方原発”本当に大丈夫

3.11から1年。東日本大震災は史上最悪といわれる東電の原発事故を引き起こしました。被災地復興の歩みは遅々としており、海洋への放射能汚染も拡がっており、プランクトンから大型魚への食物連鎖も進むといわれています。スーパーなどで『太平洋産』等のラベルは何処だろうか。魚大好きの高知県人にとっては気がかりなことであります。

復旧には何十年もかかる原発事故。四国伊方は大丈夫だろうか。

伊方は世界最大級という『中央構造線断層帯』の直近に位置しています。計画段階で、ある高名な断層研究者が中央構造線は大丈夫とのお墨付きを与えたとのことであるが、現在ではこの断層帯が活動すれば南海・東南海地震に匹敵する巨大地震を起こす可能性があるといわれており、立地条件は浜岡原発とともに最悪だとのこと。

原発事故対策は万全、四国の電気の40%強を発電している伊方の再稼働が出来ないときは非常に厳しいとの会社発言があるが、どういう状況にしても一旦事故が起きれば、我々の生活が成り立たなくなります。

やはり、原発は廃止し、太陽熱、風力等再生可能なクリーンエネルギーへと自分達の生活、社会のあり方を変えていくよう声を出していくことが必要と思うこの頃です。
(副会長 宮本潤一郎)